

### 演習 2.2.6.

$s \in S$ を任意に取る.

$(s, s) \in \{(s, s) \mid s \in S\} \subset R'$ より  $sR's$ .

よって  $R'$  は反射的關係である.

$R \subset R''$  を満たす  $S$  上の二項關係  $R''$  を任意に取る.

$(s, t) \in R'$  を任意に取る.

$(s, t) \in R$  のとき,  $R \subset R''$  より  $(s, t) \in R''$ .

$(s, t) \in \{(s, s) \mid s \in S\}$  のとき,  $s = t$  なので,  $R''$  の反射性より  $(s, t) = (s, s) \in R''$ .

ゆえに  $(s, t) \in R''$ .

よって  $R' \subset R''$ .

よって  $R'$  は反射的閉包である.

### 演習 2.2.7.

$(s, t), (t, u) \in R^+$  を任意に取る.

$i_1, i_2 \in \mathbb{N}$  が存在して,  $(s, t) \in R_{i_1}$ ,  $(t, u) \in R_{i_2}$  が成り立つ.

$i = \max(i_1, i_2)$  とすると,  $(s, t), (t, u) \in R_i$ .

ゆえに  $(s, u) \in R_{i+1} \subset R^+$ .

よって  $R^+$  は推移的である.

$R \subset R'$  となるような推移的關係  $R'$  を任意に取る.

任意の  $i \in \mathbb{N}$  に対して  $R_i \subset R'$  が成り立つことを示す.

明らかに  $R_0 = R \subset R'$  が成り立つ.

$R_i \subset R'$  を満たす  $i \in \mathbb{N}$  を任意に取る.

$(s, u) \in R_{i+1}$  を任意に取る.

$(s, u) \in R_i$  のとき, 仮定より  $(s, u) \in R'$ .

$(s, u) \notin R_i$  のとき,  $(s, t), (t, u) \in R_i$  となる  $t$  が存在する.

仮定より  $(s, t), (t, u) \in R'$  なので,  $R'$  の推移性より  $(s, u) \in R'$ .

よって  $R_{i+1} \subset R'$  が成り立つ.

よって任意の  $i \in \mathbb{N}$  に対して  $R_i \subset R'$  が成り立つことが帰納的に示される.

よって  $R^+ = \bigcup_i R_i \subset R'$  が成り立つ.

よって  $R^+$  は  $R$  の推移的閉包である.

### 演習 2.2.8.

$R'_i (i \in \mathbb{N})$  を以下のように帰納的に定義する.

$$R'_0 = R \cup \{(s, s) \mid s \in S\}$$

$$R'_{i+1} = R'_i \cup \{(s, t) \mid \text{ある } t \in S \text{ に対して } (s, t) \in R'_i \text{ かつ } (t, u) \in R'_i\}$$

このとき、演習 2.2.7.と同様に  $R^* = \bigcup_i R'_i$  が示される。

任意の  $i \in \mathbb{N}$  について、 $R'_i$  が  $P$  を保存することを示す。

| 定義より明らかに  $R'_0 = R$  は  $P$  を保存する。

|  $R'_i$  が  $P$  を保存するような  $i \in \mathbb{N}$  を任意に取る。

|  $P(s)$  が真となるような  $(s, u) \in R'_{i+1}$  を任意に取る。

|  $(s, u) \in R'_i$  のとき、仮定より  $P(u)$  は真。

|  $(s, u) \notin R'_i$  のとき、 $(s, t), (t, u) \in R'_i$  となるような  $t \in S$  が存在する。

| このとき、 $P(s)$  が真なので、 $P(t)$  が真となり、 $P(u)$  は真となる。

| よって  $P(u)$  は真である。

| よって  $R'_{i+1}$  も  $P$  を保存する。

| よって、任意の  $i \in \mathbb{N}$  について  $R'_i$  が  $P$  を保存することが帰納的に示される。

|  $P(s)$  が真となるような  $(s, t) \in R^*$  を任意に取る。

| このとき、 $i \in \mathbb{N}$  が存在して  $(s, t) \in R'_i$  が成り立つ。

| すると、 $R'_i$  が  $P$  を保存することから  $P(t)$  は真となる。

よって  $R^*$  は  $P$  を保存する。